



2023年度「牧羊者」夏期学校教案



テーマ 「体験！ イエス様との出会い」

聖句 「しかし、わたしが与える水を飲む人は、
いつまでも決して渇くことはありません。」（ヨハネ4・14）



- | | | |
|-----|----------------|--------------|
| 第1課 | 「キリストによる喜びの日々」 | （ヨハネ4・5～14） |
| 第2課 | 「十字架による救い」 | （ルカ23・39～43） |
| 第3課 | 「心にキリストを迎える」 | （ルカ19・1～10） |



今年の夏期学校教案は2011年度分のリソースを活用させていただきました。今年の夏はもちろんのこと、年度にこだわらず活用していただければと願っています。

一、ワークの区分について

夏期教案は、三回のメッセージと、それぞれにワークがあります。夏期学校は、小学生が主なメンバーになると思います。ワークは、1～3年生を対象にした「下級」、4～6年生を対象にした「上級」の2種類を用意しました。しかし、子どもの信仰、学年、理解力の程度に応じて、先生方が選んで用いてください。

二、カリキュラムについて

今回のテーマは「体験！ イエス様との出会い」です。各課において、イエス様に会った人々（サマリアの女、十字架上の強盗、ザアカイ）を取りあげています。今年の夏期学校が、子どもたちとイエス様との出会いの時となることをお祈りしています。

第一課「キリストによる喜びの日々」

夏にふさわしく、喉の渇きを取り上げながら、神様から離れた人間の心の渇きに気付かせ、永遠に渇くことのないいのちの水（霊的な命、喜び）を与えてくださるイエス様に目を向けさせます。

第二課「十字架による救い」

救いはイエス様の身代わりの十字架によることを示した上で、どのように救いを得るのかを伝え、十字架上の強盗のように自分の罪を認め、悔い改めて、イエス様を救い主と信じるよう招きます。

第三課「心にキリストを迎える」

夏期学校最後のメッセージとして、イエス様を信じた者の心の変化に焦点を当てます。既にイエス様を信じた者にとっては、夏期学校から帰った後の生活をイエス様にゆだね、お従いしていけるように、信仰の決断を迷う者にとっては、最後の招きの時となるように、祈りをもってお語りください。

三、ワード形式での提供について

かねてよりワークをワード形式で提供してほしいとの声がありましたので、今年度も用意させていただきます。各訳への対応など、必要に応じて適当に編集して用いてください。

四、終わりに

執筆者は、メッセージ例…今田好一師、下級ワーク…梅原 基師、上級ワーク…土屋開夫師です。それぞれの先生が、リソース活用を快く許可してくださいましたことを心より感謝いたします。

第一課 キリストによる喜びの日々

聖書 ヨハネ4・5～14

暗唱聖句

しかし、わたしが与える水を飲む人は、いつまでも決して渴くことがありません。

ヨハネ4・14

目標

キリストとの出会いを通して、尽きない喜びの生涯に導かれる。

導入

(今田好二)

皆さんは、井戸を見たことがありますか？ 私が子どもの時に住んでいた家には井戸がありました。穴を深く掘ると、底から水が湧いてきます。それを長いロープの先にバケツをつけたもので汲み上げます。そして、飲み水や生活に使います。しかし、井戸の水は雨が降らない日が続くと、カラカラに乾いてなくなってしまうことがあります。

渴くことのない永遠のいのちへの水

サマリアという町の井戸のそばで、イエス様はひとりの女の人に出会いました。そして、イエス様はこの女の人にこう言われました。「わたしが与える水を飲む人は、いつまでも決して渴くことがありません。わたしが与える水は、その人の内で泉となり、永遠のいのちへの水が湧き出ます」。この「渴くことのない永遠のいのちへの水」って何でしょうか？

イエス様はこの女の人の心の中をよく知っておられました。彼女が、飲む水はここにあっても、心の中は、

本当は渴いたままだということを知っておられたのです。

私たちはのどが渴くと、水がほしくなります。人間はずっと水を飲まないでいると、脱水状態になり、病気になるって死んでしまいます。それは、私たちの心も同じです。カラカラの心のままでは、苦しくて、死んだ心ようになってしまいます。

私たちの心が渴いてしまうのはなぜでしょうか。それは、私たちが罪を犯し、私たちを造り、私たちを愛していただく神様から離れてしまうからです。私たちは、神様の愛の中で生きるように造られましたが、この神様に背を向けて生きるとき、心は虚しくなり、かわいてしまいます。

パスカルという人は、人間の心には無限の大きさをもった空洞があると言いました。私たちは、その空洞をいろいろなもので満たそうとします。ゲームをしたり、お笑いを見たり…。その時は楽しいのですが、終わればまたつまらなくなります。渴いてしまいます。私たちの心の空洞を本当に満たすことができるのは、無限のお方、つまり神様だけだと言うのです。

イエス様は、私たちの罪を赦し、私たちが神様の愛のもとでもう一度生きることができるようになってくださる救い主です。イエス様だけが、私たちに決して渴くことのないいのちの水を与えてくださいます。皆さんもこの水を飲みたいと思いませんか。

尽きることのない喜びの生涯

それでは、どのようにしてイエス様からいのちの水

をいただくことができるでしょうか。ひと言で言えば、自分自身の心の状態を正直にイエス様に申し上げ、イエス様を心に信じ、罪を赦して頂くことです。

彼女は、あまり人には言いたくない、他人から後ろ指を差されるような罪人としての人生を歩んでいました。普通なら、暑い昼間に水を汲みに来ずに、朝の涼しい時に水を汲みに来ます。でも、彼女は人目を避け、他の人が水を汲みに来ない暑い昼の時間にわざわざ水を汲みに来たのです。

実は、彼女には、今までに五人の夫がいました。五回結婚して、五回とも離婚していました。しかも今は、結婚もしないで男の人と暮らしています。ですから、町の人たちからは、いつも冷たい目で見られていました。イエス様はそのことを全部知っておられた上でこの女の人に、「あなたの夫をここに呼んで来なさい」と言われました。彼女は「私には夫がいません」と正直に答えました。自分のことをすべて言いあてたイエス様に出会って、彼女はイエス様を信じました。彼女は、罪を赦された喜び、イエス様を信じた喜びでいっぱいになりました。そして、あれほど会ったことがなかった町の人々の所に会いに行き、イエス様のことを人々に紹介しました。彼女は、イエス様から尽きることのない喜びの生涯をいただいたのです。

結論

今皆さんの心はどうでしょうか。イエス様を心に信じ、罪赦されて、喜びの生涯を送りませんか。

第二課 十字架による救い

聖書 ルカ 23・39～43

暗唱聖句

まことに、あなたに言います。あなたは今日、わたしとともにパラダイスにいます。

ルカ 23・43

目標

どんな人でも救う十字架の救いを知り、悔い改めと信仰によって救いを得る。

導入

(今田好二)

イエス様の救いは、ここにいる皆さん一人ひとりのためのものです。ぜひこのキャンペーンを通して、イエス様の救いを受け取ってほしいと思います。

イエス様は、生涯の終わりをどのように迎えられたか、知っていますか。十字架につけられて死なれました。それは、私たちの罪を赦すため、全世界の人々の罪を赦して救うためでした。

十字架による処刑は、ローマ帝国が犯罪人を死刑にする時のもつとも残酷な方法でした。イエス様は無罪でありながら、二人の犯罪人とともに十字架につけられました。ところが、この二人の犯罪人は、十字架につけられるような恐ろしい罪を犯しましたが、そのうちの一人は救われました。でも、もう一人の犯罪人は救われませんでした。何が違っていたのでしょうか。

自分の罪を認めない犯罪人

犯罪人のうちの一人はこう言いました。「おまえはキ

リストではないか。自分とおれたちを救え。」ところが、もう一人の犯罪人は、こう言いました。「おまえは神を恐れないのか。おまえも同じ刑罰を受けているではないか。おれたちは、自分のしたことの報いを受けているのだから当たり前だ」。

最初の犯罪人は、ひどい罪を犯して十字架にかかっていたのに、そのことを忘れ、イエス様に悪口を言い続けました。ところが、もう一人の犯罪人は、自分が十字架につけられるような罪を犯したことを、認めました。

まず、私たちがイエス様の救いを頂くためには、自分の罪を認める必要があります。「十字架につけられるような罪は犯していない」と思うかもしれません。確かにそうです。でも、イエス様に身代わりに十字架に死んでもらわなければならないような罪は、犯しているのです。

ウソをついたこと、人の物を盗んだこと、人をいじめたり、いじわるしたこと、そして、何より、本当の神様を無視して生きてきたこと。そんなすべての罪のために、イエス様は十字架に死んでくださいました。

イエス様を信じた犯罪人

もう一人の犯罪人は、はじめはイエス様の悪口を言っていました。が、イエス様の「様子を見るうちに、イエス様が普通の人間ではなく、神の御子であり、救い主キリストであると信じるようになりました。そして、イエス様に言いました。「イエス様、あなたが御国に

入られるときには、私を思い出してください」と。これに対して、イエス様は言われました。「まことに、あなたに言います。あなたは今日、わたしとともにパラダイスにいます」。

大きな罪を犯してきた犯罪人ですが、彼は十字架の上でイエス様に出会いました。そして、このお方を信じ、十字架による救いを頂きました。そうです。イエス様の救いを頂くために必要なのは、自分が罪人であると認め、イエス様を心に信じて受け入れる信仰だけなのです。

スポルジョン少年は、自分の罪が分かり、悩んでいました。救われたいと願いましたが、どうしたらいいのか、分かりませんでした。ところが、冬のある大雪の日、入り込んだ教会で、「わたしを仰ぎのぞめ」とのみ言葉を繰り返して聞きました。彼は、信仰をもって救い主を仰ぐことだけが、救いの道であることを知りました。

イエス様の招き

十字架に死なれ、三日目によみがえられたイエス様は、今この時も、私たちを招いておられます。今信じて、心にイエス様を迎えませんか。

第三課 心にキリストを迎える

聖書 ルカ 19・1～10

暗唱聖句 ザアカイは急いで降りて来て、喜んでイエスを迎えた。

ルカ 19・6

目標 心にキリストをお迎えし、変えられた生涯を送る。

導入

(今田好二)

最後のメッセージとなりました。前回、イエス様を心にお迎えする人はどんな人でも救われることをお話ししました。それでは私たちがイエス様を心にお迎えしたら、私たちの心にどんな変化が起こるのでしょうか。

イエス様に出会った前のザアカイ

エリコという町にザアカイという人がいました。ザアカイという名前は「清い」、「純粋」という意味からきています。しかし、人は名前の意味とは全く違う人生を歩むことがよくあります。実はザアカイは皆から嫌われ、軽蔑されていました。なぜなら彼は取税人のかしらだったからです。取税人とは、ユダヤ人からローマに収める税金を集めるのが仕事ですが、決められた金額の何倍もの税金を集め、その差額を自分のものにしていました。「清い」とか「純粋」とかとても言えない、欲でいっぱいの生活をしていました。お金持ちでしたが、人々から嫌われ、心にはいつも寂しい、虚しい思いがありました。

イエス様との出会い

やがてザアカイは、ビッグニュースを聞きました。体の不自由な人や重い病気の人、世間から見放された人々

を癒された、あの有名なイエス様がこの町を通られるというのです。一目だけでも見たい、見ずにはおれないと思いました。

しかし、背の低いザアカイは、皆に邪魔されて見る事ができませんでした。そこでザアカイはいちじく桑の木の上に登り、そこからイエス様の通られるのを、誰にも知られないように身を隠して見ようと思いました。ところがちょうどイエス様がその木の下に来られた時、そんなザアカイに声をかけられました。「ザアカイ、急いで降りて来なさい」。それだけではなく、主は「わたしは今日、あなたの家に泊まることにしているから」と言われました。彼は大喜びで、急いで降り、イエス様を自分の家にお迎えしました。

名前を呼ばれたザアカイはどんなにびつくりしたでしょう。イエス様は、私たちがどんなに自分を隠そうとしても、私たちの名前も、私たちの状態も、私たちの心の中も全部知っておられます。その上で、主と共に生涯を歩むようにと招かれるのです。

イエス様に出会った後のザアカイ

イエス様を家に迎えたザアカイは、イエス様と食事しながら、立ち上がりました。そして、「私は財産の半分を貧しい人たちに施します。だれから脅し取った物があれば、四倍にして返します」と言いました。これはザアカイの公衆の前での信仰告白、罪の告白と悔い改めでした。

イエス様を心にお迎えするとき、私たちの心は神様に愛されている喜びでいっぱいになります。そして、神様

が喜ばれないことはしたくない、神様に喜ばれる者になりたいと思います。自分でそうしようと思うよりも心にお迎えしたイエス様が、私たちの心を変えてくださるのです。

「イエス様を信じたのはいいけど、キャンプから帰って、自分はどう生きていいんだろう」、そんな疑問があるでしょうか。大丈夫、イエス様に一つひとつお尋ねしながら進んでいけば、イエス様が正しい道を一つひとつ教えてくださいます。

学校で友達をいじめていた男の子がイエス様を信じて次に学校へ行った時、先生にそのことを話し、自分がいじめていた友達に謝りました。初めはみんな信じませんでした。でも一生懸命に謝ったので赦してもらうことができました。その日からその男の子は皆が嫌がる仕事を進んできるようになりました。

どのようにイエス様をお迎えするか

さて、イエス様をどのように心にお迎えしたらよいのでしょうか。ザアカイの姿を通して、もう一度確認してみましょう。

ザアカイは、登っていた木から降りました。私たちも、「神様なしでもやっていける」という、高ぶりの木に登っていなかったでしょうか。「イエス様なんて信じられない」という、不信仰の木に登っていなかったでしょうか。そんな高ぶりの木、不信仰の木から降りましょう。そして、信仰をもって、今一度、イエス様を心の中に迎え入れましょう。そして、これからの生涯、イエス様と共に歩んでいきましょう。

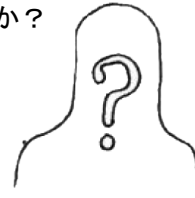
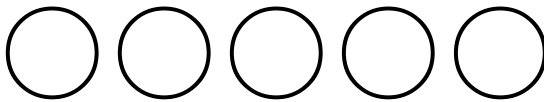
まず、みことばを大きくかきましようね。じぶんで聖書をひらこうね。＜ヨハネ4・4＞

1. イエスさまがおっしゃったのは、「どんなお水」だとおもいますか？ ○をつけてね。

- ①いどの水 ②えいえんのいのちにいたる水 ③コカ・コーラ
④てんねんすい ⑤わたし（イエスさま）があたえる水



2. サマリアの女の人、いどのところでだれとお話をしましたか？



3. この女の人、どのようにして、イエスさまから、いのちの水をいただきましたか？
() に下のことばをじゅんばんにいれて、かんせいさせましよう。

・ 夫 ・ 正直 ・ 救い主 ・ すぐに ・ 罪をゆるされた

女の方は、「わたしには（ ）がありません。」と（ ）に、
イエスさまにもうしあげました。

そして、イエスさまを「わたしの（ ）」と（ ）信じました。

女の人の心は（ ）よろこびでいっぱいになりました。

すると、その心にはいのちの水がわきあがりました。すぐわれたことがわかったのです。



みなさんは、この女の人のようなおとなではありませんが、
罪で心がかわくことがありますか？ 「じぶんもある」というのなら、
イエスさまを信じて下さい。そして、いのりましよう。

☆たいせつなおいのり☆

わたし＜名前を入れて＞は、罪があつて心がかわきます。イエスさまを、
わたしの救い主と信じますから、罪をゆるしていのちの水をおあたえください。
イエスさまのお名前によっておいのりします。アーメン。



まず、みことばを^{おお}大きくかきましょうね。じぶんで^{せいしよ}聖書をひらこうね。＜ルカ 23・43＞

1. イエスさまが^{じゅうじ か}十字架にかかれたとき、ほかに^{なんにん}何人の「^{はんざいにん}犯罪人」がいっしょにいましたか？

- ①ひとり ②ふたり ③さんにん ④いっぱい



2. ^{はんざいにん}犯罪人はどんなことを^い言っていましたか？ ひとつじゃないよ。

- ①オレには^{つみ}罪はナイ。 ②もうおしまいだ。
③じぶんがこうなったのは^あ当たり前だ。 ④キリストならオレを^{まえ}たすけてみろ。

3. ^{うえ}上の2でえらんだこたえの^{なか}中で、イエスさまをしんじた^{はんざいにん}犯罪人の^{こころ}心は①～④のどれでしょう？

4. ^{つみ}罪ってどんなのでしょうか？ よく^よ読んで、かんがえて ○ をつけてみて^{くだ}下さい。



- ①ウソ ②ぬすみ ③いじめ ④^{かみ}神さまをむして^い生きること
⑤ズル ⑥^{かみ}神さまによろこばれないことすべて
⑦ほかにおもいつくものはある？ ()

5. キリストをしんじた^{はんざいにん}犯罪人に、イエスさまは「^{なに}何を」やくそくして^{くだ}下さいましたか？

「あなたは^{きょう}今日、わたしと () に、 () にいます。」

それは、^{てん}天の^{みくに}御国、のことです。

みなさんも、イエスさまをしんじた^{はんざいにん}犯罪人のように、^{こころ}心から^{つみ}罪を^く悔い^{あらた}改めて、
イエスさまのみがわりの^{じゅうじ か}十字架をかんしゃするひつようがありませんか？
「ある」というのなら、イエスさまをしんじて、いのりましょう。

☆たいせつなおいのり☆

わたし^なく^{まえ}名前を入れて>には^{つみ}罪があるから、イエスさまを、^{かみ}神の^{みこ}御子、
わたしの^{すく}救い^{ぬし}主としんじます。^{つみ}罪をゆるして、いつもわたしといっしょにいて^{くだ}下さい。
イエスさまのお^な名前によって^なおいのりします。アーメン。



まず、みことばを大きくかきましょうね。じぶんで聖書をひらこうね。＜ルカ 19・6＞

1. 取税人のザアカイさんのお名前のいみは、何でしょう？

- ①きよい ②うつくしい ③たのしい ④あかるい

2. ザアカイさんがイエスさまに心を開いたのは、
イエスさまがどう言われたからですか？

「ザアカイ、…わたしは今日、

() に泊まることにしているから。」

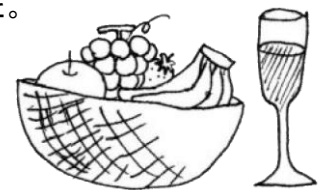
かれは大よろこびでいそいで木からおりておむかえしました。



3. イエスさまをおむかえしたザアカイは、じぶんの方からこう言いました。

「だれかから脅し取った物があれば、四倍にして返しします。」

これを「罪のこくはく」「くいあらため」といいます。
どうして、こんなことができるようになるとおもいますか？

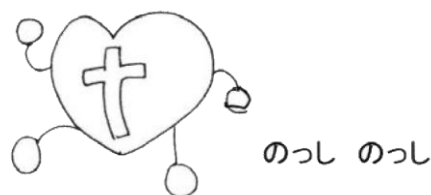


①神さまにあいされているよろこび

②神さまに罪をゆるされたよろこび

③神さまによろこばれたいきもち

④これからは正しい生き方をしたい



みなさんも、ザアカイと同じように、心にイエスさまをおむかえする
ひつようがありませんか？「ある」というのなら、ぜひ、このキャンプで
イエスさまをしんじて下さい。そして、いのりましょう。

☆たいせつなおいのり☆

わたし＜名前＞を入れて＞をキャンプからかえったあともおまもりください。

わたしの救い主イエス・キリストのお名前によっておいのりします。アーメン。



ワーク下級 解説

(梅原 基)

第一課

みことばは、自分で聖書を開かせ、大きく書かせてください。

先生も大きく書いて手本を示して下さい。

- 第1問 答えは、②、⑤。(この回答に正解が出れば、この水が霊的命を表わすもので、神様と共に生きる恵みを表わしていることについて話してもいいかも知れません。)
- 第2問 答えは「イエスさま」。(初めて、参加した子にとっては、一番大事な「質問」です。必ず「出会わなければいけないんだ。」と強調して下さい。)
- 第3問 答えは、「夫」・「正直」・「救い主」・「すぐに」・「罪をゆるされた」です。(これは、聖書の通りですが、話されたお話の確認と用語のキーワードを印象付けるねらいがあります。)
- 囲み部分の問い 「ある」という子には、口写しでも下記の祈りを祈らせて下さい。
「ない」という子には次のチャンスを！ 第3問の完成文章を読ませて、終わって下さい。

第二課

みことばは、自分で聖書を開かせ、大きく書かせてください。

先生も大きく書いて手本を示して下さい。

- 第1問 答えは②。(聖書で確認させて下さい。(32節))
- 第2問 答えは③、④。(次の問いへの布石です。)
- 第3問 答えは③。(自分も同じものを選ぶのか、聞いてみて下さい。)
- 第4問 答えは全部です。(肝心なのは ⑦です。①～⑥も、どこまでわかっているかがわかります。特に、④がわかる子は相当理解しています。)
- 第5問 答えは、「とも」〈いっしょ〉「パラダイス」〈楽園〉。(聖書どおりとお話の中で導きます。パラダイスの説明など、あまり難しいことは省略した方がよいでしょう。)
- 囲み部分の問い 決心の必要が「ある」という子〈認罪がある子〉には、口写しでも下記の祈りを祈らせて下さい。「ない」という子には次のチャンスを！
第5問の完成文章を読ませて、終わって下さい。

第三課

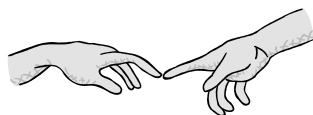
みことばは、自分で聖書を開かせ、大きく書かせてください。

先生も大きく書いて手本を示して下さい。

- 第1問 答えは、①。(お話との関連で。)
- 第2問 答えは「あなたの家」。(お話の反復、確認です。)
- 第3問 答えは全部です。(その子がどれを正解にするかで、魂を建設的にキリストにつなげて下さい。「キミも同じだね」と励ましましょう。)
- 囲み部分の問い 最後の「お祈り」です。できるだけ個人個人に確実に口写しで。
終わったら、ぜひ、握手をしましょう。

「キリストによる喜びの日々」


名前



ヨハネ 4・14

2. あなたの体の70パーセントは水分でできているんですよ（小学生の高学年の場合）。
人間は水分を ^{まった}全く取らずに、どれくらい生きられると思いますか？ ○ で ^{かこ}囲んでください。
- ① 3日ぐらい ② 10日ぐらい ③ 一ヶ月ぐらい ④ 一年ぐらい ⑤ その他

3. のどがかわくように、「心」もかわきます。「心」がかわく、というのはどういう気持ちだと思いますか？ あてはまりそうなものを、いくつでも ○ で囲みましょう。
- ① 何をやってもつまらない ② なんかさびしい ③ なんか悲しい ④ なんか不安
⑤ 心がからっぽな感じ ⑥ 心に穴があいてる感じ ⑦ やめたいのにやめられない事がある
⑧ 自分はダメな子だと思う ⑨ 自分は悪い子だと思う ⑩ 本当の友だちが欲しい
⑪ 愛されたい ⑫ その他（ ）

4. サマリアの女性は「心」のかわきをいやすために何回も同じ事をしました。それは何でしょう？
- ① テレビゲームをした ② お笑い番組を見た ③ 遊園地に行った
④ 好きなものを買に行った ⑤ 男の人と結婚した ⑥ お酒を飲んだ
- 



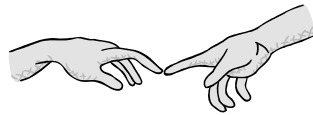
5. それで「心」のかわきはいやされたと思いますか？
- 思う ・ 思わない
6. イエス様は、「心」のかわきをいやすのは どのような水だと言われましたか？
- ① ヤコブの井戸の水 ② 水道の水 ③ ミネラルウォーター ④ イエス様が与える水
7. イエス様が^{あなた}与えて下さる「生ける水」は、それを飲む人の心に何を与えると思いますか？

★井戸の水は「地下の水」です。そのように、この世にあるものでは「心」のかわきはいやされません。でもイエス様は天から来られた「天の水」です。「天の水」なら「心」のかわきがずっといやされるのです。

お祈り (^^) ③ 「父なる神様、心のかわきはイエス様でないといやされない事を知りました。私の心もイエス様で満たしてください。イエス様のお名前によってお祈りします。アーメン。」

「十字架による救い」

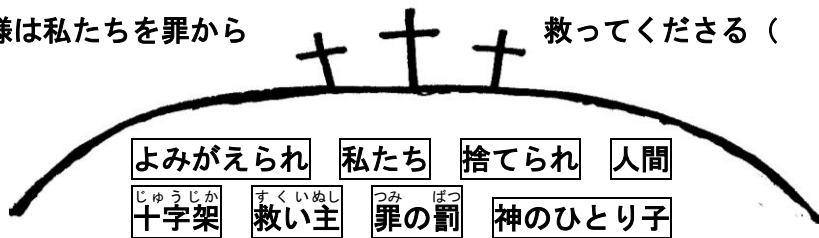
聖書 ルカ 23・39～43



名前 _____

1. イエス様はどういう方なのでしょう。カッコの中に下の言葉を入れて、文を完成させましょう。

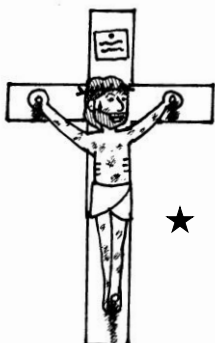
()であるイエス様は私たちを救うために()になって この世に来て下さいました。
そして()の罪がゆるされるために、()を身代わりに受け、()にかかって死なれ、父なる神様に()、ヨミに下り、そして三日目に()しました。
このように、イエス様は私たちを罪から 救ってくださる()です。



2. イエス様の十字架の右と左に犯罪人がつけられました。この二人はイエス様に対する心が全く違いました。どう違っていたでしょうか。①～④に続く言葉をそれぞれ○で囲んで下さい。

● ひとり目の犯罪人 ● (39 節)	← 十 →	○ もう一人の犯罪人 ○ (40～43 節)
認めた ・ 認めなかった	① 自分の つみぶか 罪深さを	認めた ・ 認めなかった
信じた ・ 信じなかった	② イエス様を 神の子と	信じた ・ 信じなかった
お願いした ・ 命令した	③ イエス様に 対して	お願いした ・ 命令した
もらった ・ もらわなかった	④ 天国の約束を	もらった ・ もらわなかった

3. 自分の罪を認め、イエス様を救い主と信じた犯罪人は、イエス様に何と言ってもらったでしょう。
暗唱聖句 を書きましょう。



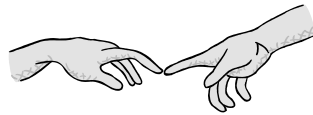
ルカ 23・43

★ どんなに大きな罪を犯した人でも、心から自分の罪を認め、悔い改め、イエス様を「神の子、救い主」と信じ、心に受けいれるなら、その人の罪はゆるされ、天国が約束されるのです。

お祈り (っ)
③ 「父なる神様、私の罪をゆるして下さい。イエス様は私と一緒に天国に連れていって下さる救い主であると信じます。イエス様のお名前によってお祈りします。アーメン。」

「心にキリストを迎える」

聖書 ルカ 19・1～10



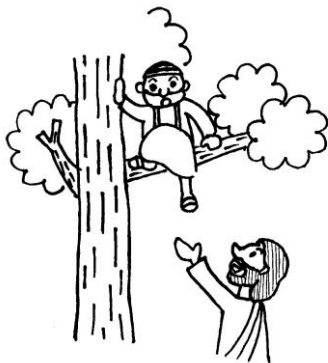
名前 _____

1. イエス様と^{であ}出会う前、ザアカイがたくさん持っていたものは何でしょう？

2. イエス様と出会う前、ザアカイが持っていなかったものは何だと思いますか？

3. イエス様から自分の名前を呼ばれ、「あなたの家に泊まることにしている」と言われた時、ザアカイはどんな気持ちだったと思いますか？

4. 木に登っていたザアカイはこの後どうしたでしょう。^{あんしやうせい}暗唱聖句を書きましょう。



ルカ 19・6

5. ザアカイはイエス様を家の中に迎えただけでなく、「心の中」に迎えました。そのことによってザアカイは心は何を与えられたと思いますか？

与えられたと思うものに ○ を
無くなったと思うものに × を
つけましょう。

- ・ イエス様の愛
- ・ 迷子^{まいご}のような不安
- ・ 人を思いやる心
- ・ 与える心
- ・ 一人ぼっちの淋しさ^{さび}
- ・ 見つけてもらった喜び
- ・ 自分の事ばかり
- ・ 欲ばりな心



★ イエス様に出会う前、ザアカイにとってはお金が一番大事でした。けれども、イエス様を心に迎え入れて、お金よりもっと素晴らしいもので心がいっぱいになりました。それはイエス様によって救われた事です。ザアカイは今までの生き方を悔い^く改^{あらた}め、イエス様と共に生きる、全^{まった}く新しい生き方に変えられました。

お祈り「父なる神様、神の御子^{みこ}イエス様を私の救い主^{すくぬし}として心にお迎えします。

(♡) 私の心を新しくして下さい。イエス様のお名前によってお祈りします。アーメン。」

ワーク上級 解説

(土屋開夫)

第一課

- 第一問 暗唱聖句を書き入れます。
- 第二問 答えは、①。
- 第三問 あてはまるものを幾つでも○で囲みます。全部に○をつけても正解。
- 第四問 答えは、⑤。
- 第五問 答えは、「思わない」。
- 第六問 答えは、④。
- 第七問 「永遠の命」「救い」「イエス様」「心の満たし」「喜び」「平安」「真の幸せ」など。

第二課

- 第一問 () に当てはまる言葉を四角で囲まれた言葉の中から選んで当てはめる。
正解は、神のひとり子 人間 私たち 罪の罰 十字架 捨てられ
よみがえられ 救い主 の順。
- 第二問 それぞれ①～④の文に続く言葉の方を○で囲みます。
「ひとり目の犯罪人」は「認めなかった」「信じなかった」「命令した」
「もらわなかった」、「もう一人の犯罪人」は「認めた」「信じた」「お願いした」
「もらった」が正解。
- 第三問 暗唱聖句を書き入れます。

第三課

- 第一問 答えは、「お金」。
- 第二問 答えは、「愛されること」「愛すること」「友達」「喜び」「平安」「救い」など。
- 第三問 「私のことを知っておられる、という喜び」「(友達のいない) 私のような者の家に来て下さる、という喜び」など。
- 第四問 暗唱聖句を書き入れます。
- 第五問 ○をつけるのは「イエス様の愛」「見つけてもらった喜び」「人を思いやる心」「与える心」、×をつけるのは「一人ぼっちの淋しさ」「迷子のような不安」「自分の事ばかり」「欲ばりな心」。